



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1983.10.15

5

To Club Presidents and Secretaries of DISTRICT 260

**Share Rotary—
Serve People**

みんなにロータリーを—
みんなに奉仕を



本年度の地区大会は、初秋の気配を深めはじめた9月24～26日、松本市において、松本西南、松本、松本南、塩尻の4クラブ協同ホストにより、蔵並R.I.会長代理御夫妻を迎え、また向笠R.I.直前会長御夫妻、末永R.I.理事、原田R.I.元理事両御夫妻ほか、多勢の御来賓をむかえて開催されました。

大会第一日は、若林繁太先生による特別講演に続いて会長・幹事会がもたれ、夜に入ってR.I.会長代理御夫妻歓迎晩さん会が行われる一方、市内各所において、分区・クラブ合同の懇親会が開かれました。第二日は生憎の小雨模様の天気でしたが早朝よ

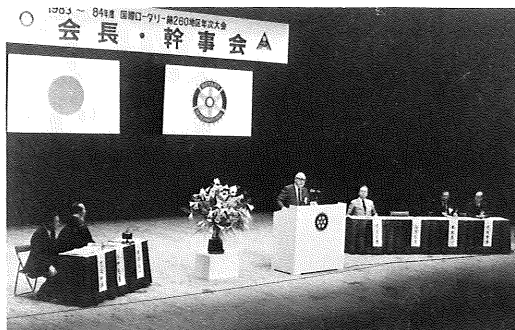
りの新P.H.F.、新米山奨学会功労者・クラブ朝食会、10時点鐘にはじまる大会本会議と、順調にプログラムは進められ、中でも蔵並R.I.会長代理によるスピーチ、子供達のバイオリン演奏、名大、飯田教授による記念講演など、感銘深く充実した一時は、印象に残るものでありました。また、大会は、ガバナー・ノミニーとして奥谷博俊君を、来年度地区大会開催について、名古屋市、名古屋空港R.C.ホスト、をそれぞれ決定。最終日の第三日目は、曇のち晴の天候に恵まれ、ゴルフ組、エクスカージョン組ともに、爽やかな信州の空気を満喫して、全日程を終わりました。

事務所 〒390 松本市中央1-9-18(松本商工会館内) TEL (0263) 36-6588

ガバナー 奥澤俊一



大会第一日目、一般参加者も交えての特別講演
において、熱弁をふるわれる若林繁太先生。



特別講演に引続いて行われた会長・幹事会での
向笠 R.I. 直前会長のスピーチ。



なごやかな雰囲気の中に開催された歓迎晩餐
会で挨拶をされる蔵並 R.I. 会長代理。



第一日の夜、市内各所で行われた分区・クラブ
別懇親会での一コマ。



第二日目劈頭の新 P.H.F., 新米山奨学会功労者
・クラブ朝食会での授賞シーン。



地区大会の主宰者として壇上に立つ奥澤ガバナー。
一。少しく緊張の色も。



おなじみ。参加クラブ紹介の一場面。



R.I. 会長メッセージ、R.I. の現状報告を語られる
蔵並 R.I. 会長代理。



紹介される地区内インターアクトクラブ、ロータリークラブの会長諸君。



「経済のソフト化・サービス化」と題して記念講演をされる名大、飯田経夫先生。



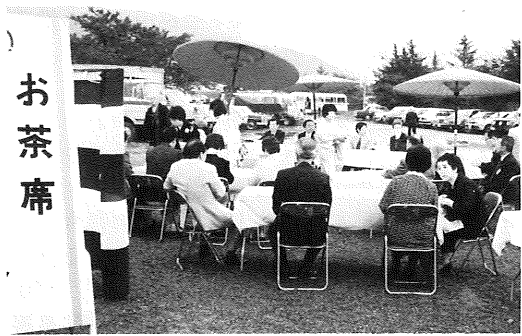
幼児をも交えて熱演する鈴木才能教育研究会のバイオリニスト達。



選挙管理委員会の報告に基いて決定した奥谷博俊ガバナー・ノミニーのご挨拶。



生憎の小雨で、友愛の広場テントは参加者でギッシリに。



意外に多勢の方々の利用で、用意した材料やお湯が底をついた友愛の広場隣りのお茶席の賑い。



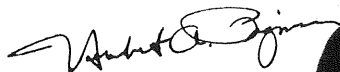
女子交換学生の皆さん。ここだけは特別に華やいた雰囲気が。



本会議のプログラムも終りに近づきました。全員で「手に手つないで」の合唱。

R. I. 事 務 総 長 書 翰 抜 粋

(1983-8-25付)



ハーバート A. ビグマン



規定審議会の全決定事項をクラブが承認

ロータリー・クラブは、1983年規定審議会の全決定事項を裁可しました。下記はそのうちのクラブ及び会員に関する決定事項の主なもので、決定事項は1984年1月1日から発効します。

地区協議会 その開催期間として、4月、5月、6月に3月が加えられました。

新クラブ 区域を共有して新クラブを結成する場合、その区域を共有するクラブの過半数が同意すれば結成できることになりました。現行の規定では、区域を共有する全クラブの承認を必要とします。もしもクラブが区域の譲渡或いは共有する提案を拒否する場合、地区ガバナーまたはR.I.理事会はそのクラブに対して、新クラブの結成を拒否する件をクラブ会員の3分の2の投票をもって確めるよう、その再考を求めることができることになりました。

会員身分 クラブは、そのクラブが存在する市の行政区域または隣接クラブの区域限界内に事業場もしくは住居をもつ人を入会させることができるようになりました。

出席 例会時間の少なくとも60パーセントに出席しない限り、その会員は欠席とみなされることになりました。

人頭分担金 人頭分担金は半期につき\$1.50増額され、半期人頭分担金は(米貨)10ドルになりました。そして、7月1日または1月1日の半期報告提出日以後、クラブに入会した正会員、シニア・アクティブ会員、パスト・サービス会員、ひとりにつき5ドルの比例人頭分担金を10月1日または4月1日付をもって納入することになりました。また、規定審議会が開催される年度には、規定審議会への地区代表の旅費を補助するため、会員1人につき米貨1ドルを納入することになりました。

1985年から実施されるロータリー・リーダーの養成課程

ロータリーにおけるリーダーの養成課程が改正され、地区およびクラブの次期役員の準備期間が延長されました。1984—1985年度より実行に移されるプログラムにより、

国際協議会は、2月の半ばから3月の半ばまでの期間中に開催されることになりました。

次期クラブ会長研修会は、国際協議会后1ヵ月以内に、遅くとも4月15日までに開催され、地区協議会は、次期クラブ会長研修会のあと、遅くとも5月31日までに開催されるものとし、そして、

新年度第1回クラブ協議会は、地区協議会のあと、遅くとも6月30日までに開催されるべきことになりました。

就いては、貴地区の1985—1986年度地区ガバナー・ノミニーは、従来より約3ヵ月早い2月の半ばから3月の半ばまでの期間中に開かれる1985年国際協議会へ出席しなければならないことになりましたことにご注意願います。

国際協議会と国際大会の期日

1984年国際協議会は、5月22～30日、米国フロリダ州のボカ・ラトーンにて行われ、引き続き、6月3～6日、英国のバーミンガムにて国際大会が開催されます。(月信第3号に記載済)

1985年の国際協議会は、今のところ2月23日から3月3日までを期日として開催される予定で、国際大会の期日は5月26～30日(米国ミズーリ州カンサス・シティー)です。貴地区大会の期日は、地区協議会、国際協議会、国際大会の期日と重ってはならないことになっておりますのでご注意ください。

財団への寄付金、新記録を樹立

1982—1983年度におけるロータリー財団への寄付金は、前年度の合計を約8パーセント上廻る米貨1,900万ドル以上に達する見込です。世

界中のロータリアンの皆様の絶大なるご支持に対し、敬意と感謝の意を表します。

1985—1986年ロータリー財団奨学生候補者を見付け推薦すべき時期となりました。選考に役立つ申請書類、その他の資料は、7月に全地区へ送付してあります。（詳しくはガバナー事務所宛お問合せ下さい）

1982—1983年度には、13,400人以上の方がポール・ハリス・フェローとなられ、新記録を樹てました。

会長賞プログラムについての注釈

各地区ガバナーより、1983—1984年度会長賞プログラム、殊のほかクラブでの会員増強につき、多くの質問が寄せられております。プログラム・リーフレットには会長賞の基準の一つである会員増の算出は、1983年6月30日から1984年6月30日までに増えた会員数に基づくことと明記されています。しかしながら、クラブは、本ロータリー年度が終る前に、もしも地区ガバナーがクラブの会員数の純増を、1984年6月30日までに達成、実現されることを保証される場合、会長賞を受け、地区内でその表彰を受けることができます。もしもクラブが、1984年6月末まで、受賞資格を獲得し得なかった場合には、会長賞は1984年7月1日以後、授与することができます。

次期クラブ会長の地区協議会への出席義務

今年の暮に、各クラブでは1985—1986年度クラブ会長を選出します。各地区ガバナーは、その間、各クラブへの連絡、通信を通じて、1984年1月1日をもって有効となる標準クラブ定款第6条の規定により、クラブ会長となる人は、地区協議会に出席できるように、本人の日程を組む必要のあることを強調し、周知させること

が要請されています。もしも正当な理由があって出席できなくなった場合には、報告義務を有する代理を派遣しなければならないことになっています。

ローターアクトと国際奉仕を描く2つの新スライド・セット

2つの新スライド・セットが今月、全地区がバナーに送付されます。双方共、例会プログラムに適し、奉仕活動を鼓舞するものとなります。「ローターアクト：奉仕を通じての親睦」と、「平和のとしび——国際奉仕活動」で、英語での解説を録音したテープ、または日本語の台本が付いています。双方共、中央事務局より、1組につき米貨24ドルで購入することができます。

ロータリーの現状

1983年8月16日現在、ロータリーは157の国に、20,202のクラブと約921,500人の会員を有します。1983年7月1日以降、18ヵ国より、30の新クラブが加盟いたしました。

所見（職業奉仕月間について）

「奉仕とは、故に、売る人の利益が買う人の完全な満足に価いする場合の交換の型態である」これは、シカゴのロータリアンで、1910年に、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の標語を提唱したアーサー・フレドリック・シェルドンが、彼の著書The Art of Sellingの中の一節です。11月は、個々のロータリアンが「各自の職業を通じての奉仕」に重点をおく職業奉仕月間であり、職業奉仕として実践できる活動や事業を考案し、実行に乗り出すようにご奨励願います。

米山奨学会特別寄付報告

日付	クラブ名	個人人数	寄付金額
9/1	岡 崎 南	4 名	90,000円
9/3	安 城	1 名	150,000円
9/5	岡 崎 東		4,677円
9/7	豊 橋 北		16,000円
9/7	豊 橋 北	1 名	30,000円
9/8	名 古 屋	1 名	300,000円
9/20	稲 沢		250,000円
9/20	名古屋守山	1 名	150,000円
9/20	岡 崎	1 名	10,000円
計			1,000,677円

お め で と う

新ポール・ハリス・フェロー

8月8日	長 沢 太 一	(長 野)
8月9日	上 野 山 通	(あ ま)
8月9日	天 野 甚 作	(蒲 郡)
8月12日	角 谷 好 弘	(名古屋名北)
8月15日	福 井 大 一	(名古屋港)
8月15日	後 藤 義 郎	(名古屋港)
8月18日	川 井 健 司	(あ ま)
8月18日	荻 村 栄	(木 曾)
8月18日	中 野 敏 雄	(岡 崎)
8月31日	安 藤 巖	(尾 西)

会長・幹事のみなさまへ お願いとお知らせ

災害に援助の手を

◎三宅島をテリトリ内にもつ第275地区の清家がバナーより、この度の噴火による災害に対し救援を致すことについて協力の要請がありました。すでに救援資金を送付されたクラブがあるとのことですが、これから資金を送ろうとされるクラブは、とりまとめの作業をガバナー事務所が行いますので、事務所宛ご連絡下さい。

◎第992地区ガバナーの報告によりますと、西サモア諸島のサバイ島において大火が発生し、いくつかの村落を焼き払い、作物を全滅させ甚大な被害を与えました。援助を希望されるクラブは、「第992地区火災救援資金」と明記して国際ロータリーを受取人として、在日財務代行者宛にご送金願います。

「R.I.ニュース(第3・4号)」のご利用を

各クラブ宛に、9月付及び10—11月付の「R.I. ニュース」が送られ、すでにお目通し済みのことと存じますが、特に下記項目にご留意願います。

- 直ちに財団月間の計画を立てよう。——本年度から、従来の財団週間に替り、11月を財団月間とすることになりました。あなたのクラブはどのようにして、この特別月間を遵守しますか？——
- 1984年国際大会への公式招待状——ロータリー史上はじめてイングランドで開かれる国際大会へのスケルトンR.I. 会長からの招待状——
- 職業分類の原則——Q & A形式のこのコーナーは是非ご一読を。
- 新クラブのスポンサーとなり、会長賞を獲得しよう——
- 地区協議会の出席はクラブ会長の義務——
- 半期報告は1月1日までに——
- ロータリーの現状——

地区のロータリー財団寄与率4,700%に

この度、R.I. のロータリー財団より、財団寄与率において、当260地区が4,700パーセント地区になったとの証状が送られて参りました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

手続要覧によれば(230 p),「地区の1ロータリー年度における寄付金、あるいは年度中のいかなる時期においてもその年度の寄付金が、会員一人当り米貨で10ドルになったときは、その地区は『100パーセント・ロータリー財団地区』となる。そしてロータリー年度間に地区の寄付金が、会員一人当り米貨で10ドルとなる度ごとに、その地区は次のパーセンテージの段階に進む。地区が新しいパーセンテージの段階に達したときは、その都度、それに対する証明書が交付されることになっている。」とあります。ご参考までに。

財団奨学生候補者の推薦枠は5名に

ロータリー財団管理委員会からの、10月付の連絡によりますと、同委員会は、1982—1983年度のロータリー財団への寄付額(会員1人当りの平均額)の段階に基いて、1985—1986年度奨学金を追加授与することを認可いたしました。

その結果、当260地区は今年5名の、1985—1986年度奨学金に対する候補者を推薦する資格を得ることになりました。この数には、寄付の多少に関係なく各地区に授与される普通奨学金の候補者も含まれております。

なお、財団奨学生の募集については、R.I. ニュース第4号2頁をご覧ください。

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

9月24日	神野 太郎 殿	(豊 橋)
9月28日	山本 太郎 殿	(丸 子)
10月12日	木村 鉦一 殿	(安 城)
10月18日	中村 信男 殿	(豊 橋 北)

11月公式訪問日程

1日(火)	西 春日 井	12日(土)	東 知 多	21日(月)	名 古 屋 東
2日(水)	豊 川	14日(月)	駒 ケ 根	22日(火)	高 浜
4日(金)	諏 諏	15日(火)	飯 島	24日(木)	松 川
9日(水)	名 古 屋 南	16日(水)	稲 沢	28日(月)	名古屋空港
10日(木)	一 色	17日(木)	名古屋瑞穂	29日(火)	名古屋名東
11日(金)	春 日 井	18日(金)	田 原	30日(水)	碧 南

神野/パスト・ガバナーのご逝去を悼んで



ガバナー 奥澤俊一
国際ロータリー第260
地区パスト・ガバナー神
野太郎翁（豊橋R.C.）は
9月24日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表
します。この日はくしく
も地区年次大会第1日の
日に当り、「神野君の御
他界は本当にショッキングな出来事でごさ

ましたが、彼のMr. Rotary 振りは、地区大会の日に御他界になったというひと事で充分証明されたのではないかと存じます。」という安野P.G.のお言葉通りであると思います。在りし日のお姿を偲び、心から御冥福をお祈り申し上げます。

神野太郎 P.G. 略歴

明治36年 9月9日生る

昭和2年 3月 慶応義塾大学法学部卒

同 16年12月 豊橋瓦斯(株)社長就任

同 25年 8月 豊橋R.C. 設立

初代、第二代会長就任

同 26～31年 特別代表として岡崎、蒲郡、
飯田R.C.を設立

同 40年 第360地区ガバナー就任

豊橋R.C.会長 磯村浩隆

神野太郎パスト・ガバナーは、戦後のロータリーの活動に大きな影響を与えたリーダーの中でも、素晴らしいロータリアンであります。そのリーダーの方々とは、昭和40年1月10日(日)蒲郡ホテルで開催された“ガバナー・ノミニー指導者講習会”(講師は東ヶ崎R.I.元会長、柏原孫左エ門P.G.)に集められた安野R.G.を始め竹田恒徳、鱸正太郎、島津久厚、故神野太郎各

P.G.といった面々で、日本ロータリーにとっては、花の40年グループであります。

一樹の蔭、一河の流れ、袖すり合うも他生の縁という“一期一会”による神野さんとの出会いによって、人それぞれに神野さんの人間性に触れ薫陶を受けた人々を数えきれない程存じています。精悍な表情の時でさえ、その内には慈愛がみち、やさしさと思ひやりを備えた魅力ある個性を持った方でありました。そして、家族のような親しみを生み出す絆を与えて下さる方でした。学生時代から父故三郎氏の紹介により“日本ロータリーの父”故米山梅吉翁との知遇を得、翁創立の三井信託(株)で修養されたこと、若き日仏教を学び、またキリスト教の修道院の門をくぐり、故内山鑑三の教えを乞うたその若き情熱の芽が、米山梅吉翁との出会いによって開花されたのでありましょう。

ロータリーを愛し、ロータリーに生きた神野P.G.は、同時に郷土三河を愛した方でした。生前にうかがった話では、米国シカゴ港にある碑銘に非常に啓発をうけたとのことでした。それは「小さな夢を持つな。小さな夢は我々の血を湧きたたせない。大きな夢を持て。大きな夢は我々の血潮を湧きたたせる。もし、我々が出来ない時は、子や孫の時代に必ず実現させて呉れるだろう。」

我々豊橋R.C.の会員も、神野さんの言葉の如く、Rotary のテクニックの習得のみに走らず、常に変化の為に原点に戻って、その精神を学ぶことを続け、奉仕に人生を費す努力を続けてゆけば、豊橋R.C.も永遠であろうと思います。

我々クラブ会員に人生の本当の価値は何か、をご指導下さった神野P.G.に対する感謝の意は筆舌につくせぬものです。

神野太郎P.G.の霊に謹んで哀悼の意を表します。
昭和58年 9月29日

(御逝去直後のクラブ例会での会長スピーチより)

地区ニュース

今年度の第3回諮問委員会が、去る9月24日(土)松本第二東急インにおいて開催されました。

第3回諮問委員会議題

- (1) 1983—1984年度地区大会に関する件
- (2) 1984—1985年度地区大会に関する件
- (3) 1984—1985年度地区協議会候補地並びにホストクラブに関する件
- (4) 1985—1986年度ガバナー・ノミニー候補に関する件
- (5) その他

新クラブ設立の特別代表を野田真一君に委嘱

西春日井R.C.をスポンサー・クラブとする新クラブ設立の動きは着々と進捗しており、この度同クラブの野田真一君が、特別代表として委嘱されました。

お知らせ

◎軽井沢R.C.の例会場は、9月3日(月)より来年6月25日(月)までの間、星野温泉ホテル(TEL 02674-5-5121)に移ります。

昭和58年 9 月 度 分 区 別 会 員 数 及 び 出 席 率

分 区	クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 数 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	半 田	64	97.77	4	64	0
	半 田 南	46	100.00	4	45	+ 1
	東 知 多	45	93.33	4	48	- 3
	名 古 屋	216	95.92	4	212	+ 4
	名 古 屋 千 種	48	99.47	4	48	0
	名 古 屋 東	93	98.62	4	95	- 2
	名 古 屋 北	96	100.00	4	95	+ 1
	名 古 屋 名 北	56	100.00	4	55	+ 1
	名 古 屋 名 東	55	100.00	4	55	0
	名 古 屋 南	116	99.52	4	116	0
	名 古 屋 港	102	99.5	4	102	0
	名 古 屋 瑞 穂	61	100.00	4	61	0
	名 古 屋 守 山	80	98.34	4	80	0
	名 古 屋 中	96	99.19	4	96	0
	名 古 屋 西	146	98.38	4	145	+ 1
	名 古 屋 東 南	82	100.00	4	80	+ 2
	名 古 屋 和 合	76	100.00	4	76	0
	東 海	50	98.50	4	49	+ 1
	常 滑	60	98.73	4	60	0
	19 C	1,588			1,582	+ 6
東 尾 張 分 区	犬 山	74	100.00	4	74	0
	岩 倉	31	100.00	4	30	+ 1
	春 日 井	80	100.00	4	80	0
	小 牧	64	100.00	4	64	0
	江 南	65	100.00	4	65	0
	名 古 屋 空 港	64	99.61	4	64	0
	尾 張 旭	48	100.00	4	48	0
	瀬 戸	76	98.68	4	76	0
	瀬 戸 北	50	99.51	4	51	- 1
	9 C	552			552	0
西 尾 張 分 区	あ ま	73	98.97	4	73	0
	尾 西	57	99.56	4	56	+ 1
	一 宮	88	100.00	4	84	+ 4
	一 宮 北	74	98.96	4	72	+ 2
	稲 沢	52	98.56	4	52	0
	西 春 日 井	72	99.30	4	72	0
	津 島	74	100.00	4	73	+ 1
	7 C	490			482	+ 8
三 河 第 一 分 区	渥 美	55	97.73	4	55	0
	蒲 郡	71	96.82	4	71	0
	奥 三 河	52	94.23	4	52	0
	新 城	49	96.43	4	49	0
	田 原	68	97.05	4	68	0
	豊 橋	118	100.00	4	116	+ 2
	豊 橋 北	102	99.27	4	98	+ 4
	豊 橋 南	71	100.00	4	71	0
	豊 川	82	96.84	4	81	+ 1
	9 C		668		661	+ 7

分 区	クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 数 月	増 減
三 河 第 二 分 区	安 城	70	100.00	4	70	0
	碧 南	71	99.63	4	71	0
	一 色	51	86.76	4	51	0
	刈 谷	83	98.59	4	82	+ 1
	西 尾	74	98.94	4	74	0
	岡 崎	90	99.69	4	86	+ 4
	岡 崎 東	59	98.68	4	57	+ 2
	岡 崎 南	76	98.98	4	76	0
	高 浜	41	98.19	4	42	- 1
	豊 田	91	100.00	4	89	+ 2
	豊 田 東	54	99.02	4	54	0
	豊 田 西	72	99.30	4	72	0
	12 C	832			824	+ 8
東 北 信 分 区	軽 井 沢	41	100.00	4	41	0
	小 諸	57	97.81	4	57	0
	丸 子	39	90.37	4	41	- 2
	南 佐 久	26	87.36	4	26	0
	長 野	93	96.0	4	93	0
	長 野 東	77	96.29	4	77	0
	長 野 南	31	92.74	4	31	0
	中 野	49	93.37	4	49	0
	佐 久	37	92.33	4	37	0
	須 坂	42	95.8	4	42	0
	戸 倉 上 山 田	37	100.00	4	37	0
	上 田	60	95.92	4	59	+ 1
	上 田 東	49	97.28	4	49	0
	13 C	638			639	- 1
南 信 第 一 分 区	茅 野	27	100.00	4	27	0
	富 士 見	33	93	4	33	0
	白 馬	39	90.03	4	39	0
	木 曾	50	93.35	4	50	0
	松 本	73	100.00	4	72	+ 1
	松 本 南	78	100.00	4	77	+ 1
	松 本 西 南	48	92.58	4	48	0
	岡 谷	62	96.77	4	62	0
	大 町	61	91.81	4	60	+ 1
	塩 尻	40	99.38	4	40	0
	諏 訪	61	91.26	3	61	0
	11 C	572			569	+ 3
南 信 第 二 分 区	飯 田	89	99.29	4	89	0
	飯 田 南	73	100.00	4	73	0
	飯 島	35	100.00	4	35	0
	伊 那	85	98.95	4	84	+ 1
	駒 ケ 根	60	100.00	4	60	0
	松 川	51	97.97	4	51	0
	箕 輪	31	96.77	4	32	- 1
	辰 野	48	100.00	4	48	0
	8 C	472			472	0
計	88 クラブ	5,812			5,781	+31